











鶏卵

『鶏卵(たまご)』は、私たちにとって身近な食べものです。 総食でもよく食べている鶏卵は、どのようにして私たちのもとに届けられるのでしょうか?

鶏卵とは、鶏が 産んだ鄭の事だ



_《写真提供:愛媛飼料産業株式会社》





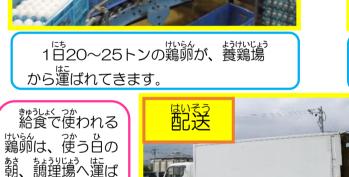
1日20~25トンの鶏卵が、養鶏場 から運ばれてきます。



専用の機械を使って、鶏卵をきれいに 洗います。



てさぎょう まい まい 手作業でヒビが入っているもの・ だれているもの・規格外のものを と 取り除きます。



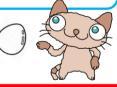
トラックに載せて、様々な 場所へ運んでいきます。



サイズ等に労削し、パックや酸ボールに詰めていきます。



機械で選別後、乾燥させ、紫外線 で穀薫します。



① カメラ 撮影で 汚れた 節を 見つける。

機械でも、

検査をするよ

- **振動でヒビの入った跡を見つける。**
- ③ 特殊な光を当て血液の混ざった卵 を覚つける。

Q 新鮮な鶏卵を見分けるには?

★食塩水につけてみる

れるよ。

が禁なものは濃度10~11%の食塩水につ けると横になって沈みます。

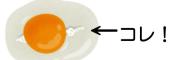
★割った時の状態を見る

が対すの 虚り上がりが大きく、 卵白の濃い部分 きないがくとの境目が明確なものは新鮮です。





Q. 鄭黄に付いているヒモ状のものは何?



『カラザ』といいます。鄭黄が遠れないよう、真 んずにつなぎとめる役割をします。党養を尚上させ る効果があるので取り除かず、食べましょう。

3月の味めぐり (栃木県)

- ・ふるさとの炊き込みご<u>飯</u>
- ゆば入りかきたまき
- ・ <u>い松菜のおひ</u>たし

